

イッキに索引 Windows10 対応版

使用説明書

【はじめに】

「イッキに索引 Ver1.0」は、DTP 編集作業でかなりの手間がかかっていた索引作成のワークフローを、生産性の面で大きく変えるものと言えます。本ソフトはオペレーションをされる方の負担を軽減し、より短納期に対応できます。それにより出版・編集サイドの方の進行や管理を助けることにもつながります。

本ソフトは、Adobe InDesign で作成された索引マーキング済み文書から、高速に索引語句を抽出して読みを発生するエンジン部分を中心に構成されています。またもう一つの特長として、InDesign で索引語句のリストを作らず、Microsoft Excel・Word をアウトプット部分に採用し汎用性を高めています。

このことは、一つのアプリケーションの枠組みにとどまらず、エンドユーザーに最大のメリットが生じるような高度なアプリケーション連携を実現する技術を軸に、本ソフトが開発されたものであることを示しています。

今後ともエンドユーザーの皆様にとって、使いやすく・簡単で成果の上がる製品開発を行っていきます。ソフトの持つパフォーマンスを最大限に引き出していただければ幸いです。

本ソフトを運用・管理される方は、使い始める前に本説明書を一通りお読みになることをお勧めします。実作業を担当される方は、「使い方」「製品の補足説明」を最初にお読み下さい。その他の項目は、後からでも必要に応じてお読み下さい。本ソフトを起動し、「ユーティリティ」－「初めての方へ」を表示すれば、簡単な操作手順を確認できます。

注1) 本説明書記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

注2) 本説明書は事前に告知することなく、必要に応じて追加または改訂される場合があります。最新版については、SND Softwareの製品ホームページよりダウンロード可能です。

注3) 本説明書記載の説明文や画面の例は、製品発売当時の環境(Windows XP、InDesign CS、Excel2003、Word2003)に基づいています。お客様の実行画面と表示やデザインが一部異なる場合があります。

《 目 次 》

1. 【製品の主な機能・特長】	3
2. 【推奨される動作環境】	4
3. 【使い方】	5
4. 【製品の補足説明】	22
5. 【制限・注意事項】	27
6. 【インストールと製品の運用管理】	29
7. 【製品サポートについて】	36

【製品の主な機能・特長】

1. InDesign 文書にマーキングするだけで索引語句が抽出できます。
2. マーキングは、対象語句を選択し、スウォッチの色をセットするだけなので簡単です。
3. 索引対象語句を校正する際、語句が色でマークされているため一目でチェックできます。
4. 抽出の操作は、対象文書を選んで実行ボタンを押すだけです。操作を覚える手間がかからないので導入が非常に簡単です。
5. 独自開発の索引抽出エンジンが、高速かつ高い精度で、対象となる語句を抜き出し、読みとノンブルを発生させます。
6. InDesign 文書は、単独のドキュメント・ブックにまとめられた複数のドキュメントの、どちらも自動で抽出します。
7. 抽出結果の索引データは、出現順・ソート済みの両方が得られ、語句、読み、ノンブルが並記されます。
8. 索引データは Excel・Word に書き出されます。校正や仕上げも、使い慣れたソフトで汎用的に進められます。
9. 出現順の読みを直した場合でも、ソート済みの結果にすぐ反映することができます。
10. Windows 向けの各種専門辞書を選択できます。医学・薬学など難しい読みの精度を上げることが可能になります。
11. 語句（キーワード）のリストを用意すれば、全ての語句を自動で検索し、マーキングして索引抽出することができます。

【推奨される動作環境】

対応 OS：Windows10（64bit 版）以降

必要アプリケーション 1：InDesign CC2017（64bit 版）以降

必要アプリケーション 2：Microsoft Office2016 以降の Excel と Word（32bit 版の Office のみ動作可）

PC スペック：Intel Core プロセッサ 3GHz 以上（または同等の CPU）、メモリ 4G 以上

ネットワークアダプタ必須（一般的な Ethernet の LAN カード）

プログラム動作環境：InDesign・Excel・Word で VB（VBA）スクリプトが問題なく動作すること

注 1）Windows および Office には、最新のアップデートが適用されていることが必要です。

注 2）コントロールパネルのユーザーアカウント制御（UAC）を、最下段の「通知しない」にして本ソフトを実行して下さい。「通知しない」以外にした場合、エラーの原因になります。

注 3）Excel・Word は単体の製品でなく、Office 統合製品（パッケージや Office365）からインストールされていることが必要です。

注 4）本ソフトおよび InDesign、一括マーキング時の Excel は、必ず「管理者として実行」（のモードで起動し使用）して下さい。「管理者として実行」しない場合、フォルダやファイルが自動で生成できず、処理が開始されないまたは途中でストップするなどエラーの原因になります。

注 5）OS や各アプリへの対応の最新状況については、SND Software の製品ホームページに記載された動作確認リストを参照下さい。

【使い方】

本ソフトで索引データを作成するための主な操作手順やポイントは、以下のとおりです。次ページ以降、順に説明します。

○主な手順

- (1) InDesign でのマーキング
- (2) 実行前の準備と確認
- (3) 本ソフトでの実行開始
- (4) 索引抽出処理のプロセス（進行のようす）
- (5) 抽出結果の確認
- (6) 抽出結果の訂正とソートの再実行
- (7) 索引データの保存

○その他のポイント

- (8) 索引語句の一括登録（マーキング）機能について
- (9) 専門用語辞書の追加と再実行
- (10) ノンブルについて
- (11) 処理できないケース
- (12) 処理が中断したときの復帰方法

さらに詳しい説明や注意点については「製品の補足説明」、「制限・注意事項」のページを参照して下さい。

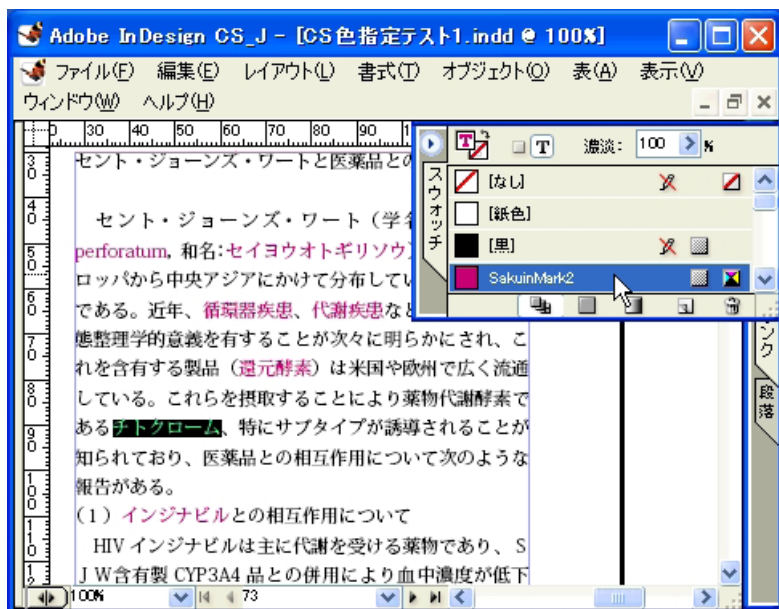
(1) InDesign でのマーキング

1. 新規にスウォッチを設定します。



- ・色の%は自由ですが、スウォッチ名には規則があります。SakuinMark1、SakuinMark2・・・のように SakuinMark と半角数字の1から9のいずれかを組み合わせた名前にします。

2. 索引対象語句を選び、マーキングします。

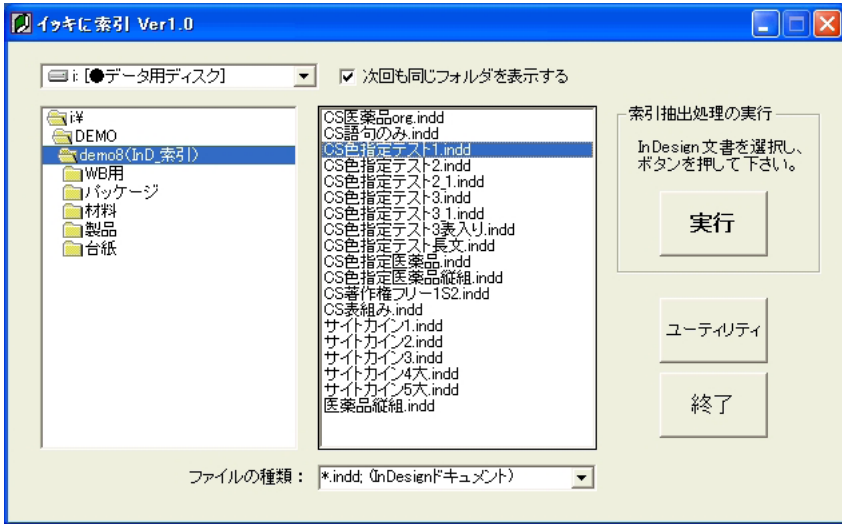


(2) 実行前の準備と確認

1. マーキング済み文書を保存します。
 - ・マーキング済み文書は、オリジナル文書とは別に名前をつけて保存します。
2. マーキング済み文書を作成した InDesign のバージョンを確認します。
3. 本ソフト稼動 PC 上で、実行前の準備をします。
 - ・本ソフトは、直前に起動したバージョンの InDesign を、本ソフト実行時の対象となる InDesign として認識します。
 - ・文書のバージョンが CC2017 なら、本ソフトを起動する前に CC2017 を起動しておきます。→「製品の補足説明」参照
 - ・本ソフトおよび InDesign は起動のたびにアイコンを右クリックして、「管理者として実行」して下さい。
4. 同 PC 上で対象文書を開き、問題がないか確認します。
 - ・本ソフト実行時に、InDesign 上でリンク切れやフォントがないなどの警告ダイアログが出ると実行が継続できなくなります。前もって InDesign で文書を開いて確認し、ダイアログが出ないように問題をなくしておきます。
5. 本ソフトを起動し、InDesign のバージョンを確認します。
 - ・対象文書のバージョンと一致していれば OK です。
6. InDesign 上で開かれている文書は全て閉じます。
 - ・開いたまま実行を開始すると、エラーになります。
7. Excel や Word が起動していたら終了します。
 - ・起動中のまま実行を開始すると、エラーになります。

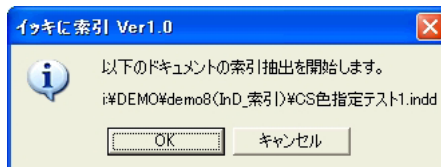
(3) 本ソフトでの実行開始

1. 「イッキに索引」を起動します。(下はメイン画面)



- ・「ファイルの種類」は、ドキュメント・ブック・全ての3種です。
- ・ネットワーク上の他のPCは、ドライブには表示されません。表示するには、対象文書が保存されているフォルダに対し、ネットワークドライブの割り当てを行います。次に本ソフトを再起動すれば、そのフォルダがドライブとして認識されます。

2. 対象文書を選択して、「実行ボタン」を押します。
3. 対象文書名を確認して、「OK ボタン」を押します。

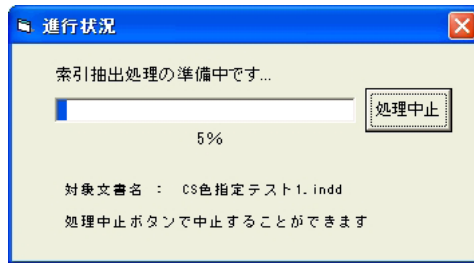


- ・これ以降は自動で索引データが抽出されます。

(4) 索引抽出処理のプロセス（進行のようす）

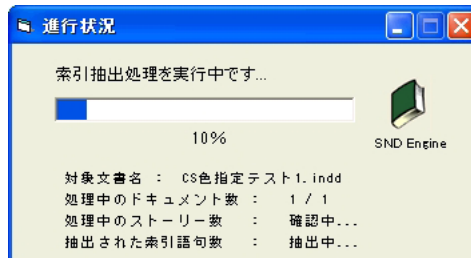
- ・ 処理中はマウス・キーボードには、できるだけ触れないようにして下さい。
- ・ 以下のようなステップで自動で進んでいき、終了すると Excel や Word で抽出結果が表示されます。

1. 実行開始直後の進行状況画面です。



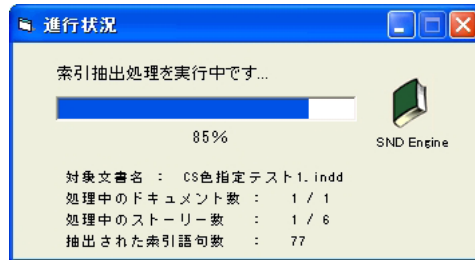
- ・ 準備中の状態を示し、この画面のときのみ「処理中止」ボタンで実行を中止できます。（ドキュメントごとに1～2秒間表示）

2. 「処理中止」ボタンは消え、各種ステータスが表示されます。



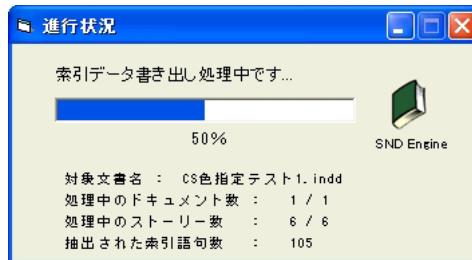
- ・ 文書の解析などの処理が開始されています。（中止できません）
- ・ 進行状況画面の青いプログレスバーは、ストーリーごとに繰り返し表示されます。
- ・ ページ数や処理内容によって、バーが1カ所で止まることがあります。エラー画面が出ていなければ、異常ではありません。

3. 処理途中から、全てのステータスが表示されます。



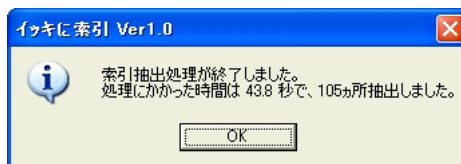
- 表示されるステータスは、①対象文書名 ②処理中のドキュメント数（ブックで複数のドキュメントがある場合） ③処理中のストーリー数 ④抽出された索引語句数 の4つです。

4. 索引データ書き出し中の画面です。



- 全てのドキュメントの索引抽出が100%終わったら、データがExcel・Wordに書き出されます。

5. 全ての処理が終了した画面です。



- OK を押し、Excel・Word での抽出結果確認に進みます。

(5) 抽出結果の確認

1. 出現順の索引データを確認します。(Excel 画面)

	A	B	C	D
1	Hypericum perforatum	Hypericum perforatum	73	
2	セイヨウオトギリソウ	せいようおとぎりそう	73	
3	循環器疾患	じゅんかんきしっかん	73	
4	代謝疾患	たいしゃしっかん	73	
5	還元酵素	かんげんこうそ	73	
6	チトクローム	ちとくろーむ	73	
7	インジナビル	いんじなびる	73	
8	米国国立衛生研究所 (NIH)	べいこくこくりつえいせいけんきゅうしょ (NIH)	73	
9	抗腫瘍活性増強	こうしゅようかっせいぞうきょう	73	
10	腎盂・膀胱腫瘍の発生リスク	じんう・ぼうこうしゅようのはっせいりすく	73	
11	S J W含有製品	S J Wがんゆうせいひん	73	
12	プロテアーゼ	ぶろてあーぜ	73	
13	プラセボ群	ぶらせぼぐん	74	
14	接着分子発現増強	せっちゃくぶんしはつげんぞうきょう	74	
15	鼻炎用内服剤	びえんようないふくざい	74	
16	塩酸フェニルプロパノールアミン (PPA)	えんさんふえにるぶろぼのーあみん (PPA)	74	
17	白血球走化	はっけつきゅうそうか	74	
18	分子量8,000~10,000のアミノ酸	ぶんしりょう8,000~10,000のあみのさん	74	
19	LPS (lipopolysaccharide)	LPS (lipopolysaccharide)	75	
20	β遮断剤	Bしゃだんざい	75	

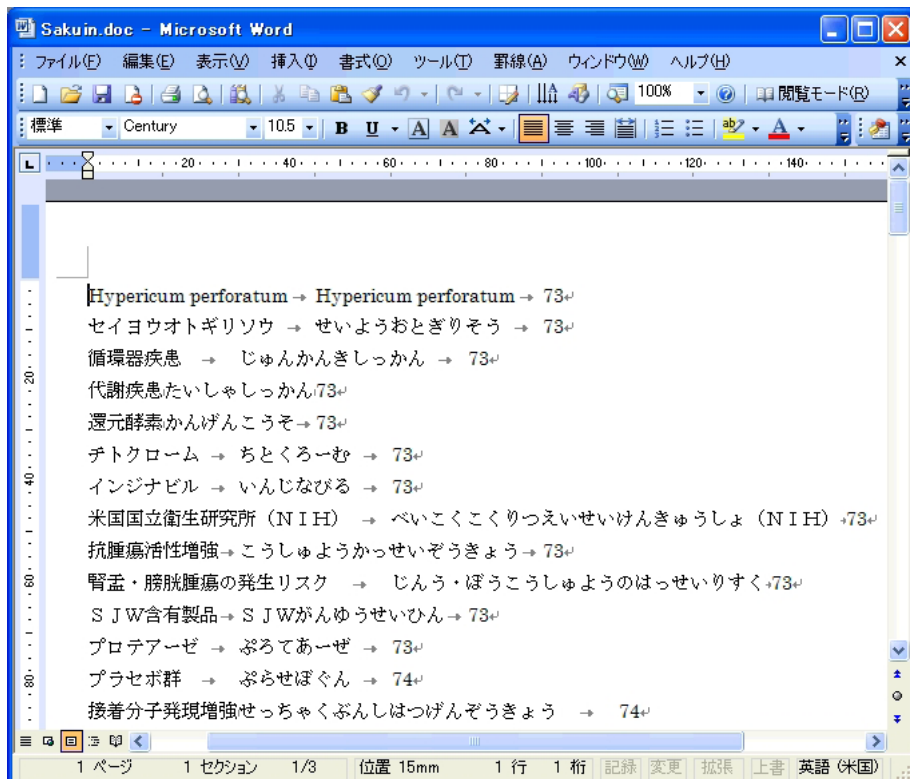
- ・索引データは、左から順に「索引語句」「読み」「ノンブル」の順で得られます。
- ・上の例は出現順で、シート名は「Org」です。ページの出現順ではなく、InDesign の各ストーリーごとの出現順になります。
- ・Sakuin.xls・Sakuin.doc という名前でも SakuinData フォルダ (本ソフトのフォルダ内) に保存されます。Excel や Word とは別に、Sakuin.txt というテキストファイルも同時に作成されます。

2. ソート済みの索引データを確認します。(Excel 画面)

	A	B	
1	HMG-CoA還元酵素	HMG-CoAかんげんこうそ	75
2	Hypericum perforatum	Hypericum perforatum	73
3	LPS (lipopolysaccharide)	LPS (lipopolysaccharide)	75
4	NK活性増強	NKかっせいぞうきょう	77
5	P P A含有医薬品	P P Aがんゆういやくひん	78
6	S J W含有製品	S J Wがんゆうせいひん	73,78,79
7	β遮断剤	Bしゃだんざい	75,89
8	アザチオプリン	あざちおぷりん	85
9	医薬品G P M S P	いやくひんG P M S P	80,82,83,84,86
10	インジナビル	いんじなびる	73
11	塩酸フェニルプロパノールアミン (P P A)	えんさんふえにるぶろぼのーるあみん (P P A)	74
12	外国製造承認取得者	がいこくせいぞうしょうにんしゅとくしゃ	86
13	外国措置情報	がいこくそちじょうほう	83
14	活性化T細胞	かっせいかTさいぼう	75,78,81,83,86
15	合併症	がっぺいしょう	80
16	顆粒減少	かりゅうげんしょう	76
17	過量服用	かりょうふくよう	78
18	還元酵素	かんげんこうそ	73
19	還元酵素阻害剤	かんげんこうそそがいざい	75
20	感染症情報	かんせんしょうじょうほう	80
21	感冒用剤	かんぼうようざい	77
22	器官形成への関与	きかんけいせいへのかんよ	84

- 上の例はソート済みで、シート名は「Sort_Syori1」です。
- 出現順をソートし、索引項目を一つの行にまとめ、ノンブルをカンマで区切って並べる処理がなされています。
- シート名「Sort_Only」は、出現順を単にソートしたもので、出現順と語句の件数は一致します。必要に応じて確認します。

3. Word（出現順のみ）は必要に応じて確認します。



4. Excel（出現順）に戻って、語句や読みを校正します。

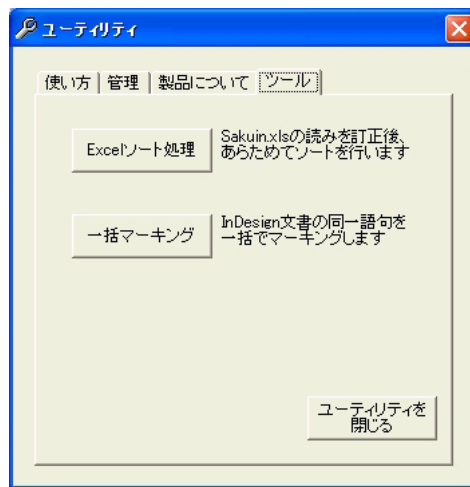
- 1～3を確認して、マーキングの追加や、本ソフト再実行の必要性がなければ、Excelの出現順（Orgシート）を校正します。
- この後の手順で、Excelの出現順のワークシートを直接修正し、再度ソート処理を行います。
- 専門用語が多く、読みの精度を向上させる必要があるときは、専門辞書をIMEに追加し、本ソフトを再実行します。
→（9）の専門用語辞書の追加と再実行参照

(6) 抽出結果の訂正とソートの再実行

1. Excel（出現順）の、語句や読みを修正します。

- 校正した結果、訂正がある場合は、ワークシートを直接修正します。同じ語句や読みの修正が複数ある場合は、検索・置換でもれなく直します。

2. ユーティリティの「ツールー Excel ソート処理」を実行します。



- ボタンを押す前に、1で修正した Sakuin.xls をあらかじめ開いておきます。
- 名前が Sakuin.xls でない場合は、エラーが出ます。
- 実行すると「Sort_Syori1」とは別に、「AfterSort」というシートが新たに作成されます。

3. 必要に応じ、修正とソートの再実行を繰り返します。

4. 必要に応じ、InDesign に流し込む前に Excel 上で、体裁や見出し部分を編集・追加します。

(7) 索引データの保存

Sakuin.xls, Sakuin.doc を別名で保存します。

- Sakuin.xls, Sakuin.doc は本ソフトが実行されるたびに同じ名前
で常に上書きされます。
- 作業ごとにでき上がった索引データを保存する場合は、フォル
ダを用意して別名で保存します。

以上が主な手順です。ここからは、その他のポイントになります。

(8) 索引語句の一括登録（マーキング）機能について

文書内の同一の語句を、索引語句として一度にマーキングする
ことができます。Excel 文書名 Keyword.xls の、Sheet1 のB列にある
キーワード群を元に、InDesign 文書に一括でマーキングします。

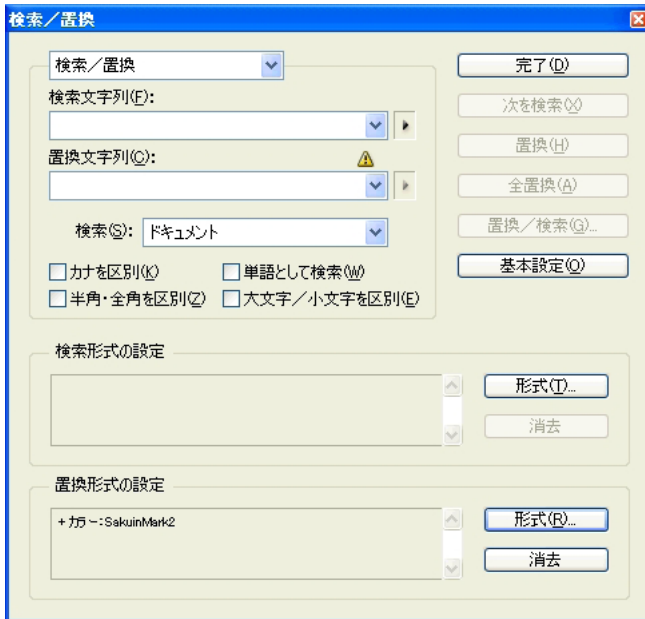
1. Excel についても必ず管理者として実行（右クリックで選択）し、
起動して下さい。

注) Keyword.xls をダブルクリックしただけでは管理者とならず、
「OK」ボタンを押しても実行されません。

2. キーワード（索引対象語句）の入った Keyword.xls を開きます。
 - B列にあるキーワードのみが検索されます。キーワードは連続
してセルに入っていないなくてもかまいません。
 - Keyword.xls は保存してから、次へ進んで下さい。

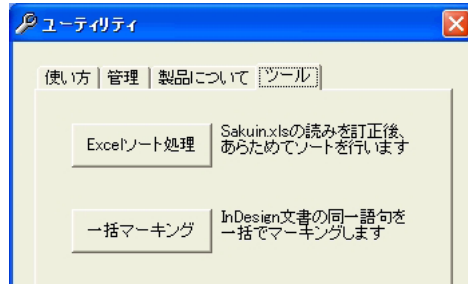
3. 対象となる InDesign 文書を開きます。

4. 検索／置換ウィンドウで必要な設定を行います。

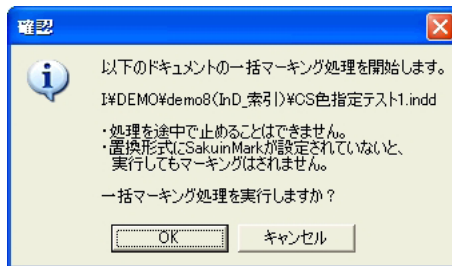


- 置換形式に「SakuinMark ~」のスウォッチ名またはスタイル名を設定します。(必須)
- 検索 (S)：の設定 (ストーリーとかドキュメントとか) にかかわらず、対象文書 (ブックまたはドキュメント) は全てサーチしてマーキングされます。
- その他の項目 (全角／半角の区別など) は、必要に応じて設定し、設定が終わったら完了ボタンを押します。
- 対象文書だけが画面に表示されているようにします。
対象文書が単一のドキュメントの場合は、そのドキュメントのみ表示します。ブックの場合は、ブック内ドキュメントは全て閉じて、ブックのパレットのみ表示します。

5. 「ツール一括マーキング」をクリックします。



6. 案内に従って進むと、実行前のチェックが行われ、問題なければ下の画面が表示されます。



6. 「OK」を押すと、一括マーキング処理が実行されます。

- ・処理を途中で止めることはできません。
- ・キーワード検索はストーリーごとに行われます。進行状況のプログレスバーは、ストーリーごとに表示されます。

7. InDesign 文書で、マーキング結果を確認します。

- ・マーキングされない場合、置換形式に「SakuinMark ~」のウォッチ名またはスタイル名が設定されているかなど、検索／置換の設定やキーワードを確認の上、再度実行して下さい。

(9) 専門用語辞書の追加と再実行

1. 市販あるいはフリーの専門用語辞書を用い、読みの精度を向上させる必要があるときは、以下のようにシステムに追加します。

- IME のプロパティ画面でシステム辞書に追加し、チェックマークをつけて「OK」をクリックします。



2. 本ソフトを再実行します。(辞書が結果に反映されていない場合は、各ソフトを再起動してから実行して下さい)

- 以下は医学用辞書の追加前と追加後の実行例です。
 - は読み修正要、○は読み OK を示します。

95	赤芽球	あかめたま	88	●	
96	血管内皮細胞	けっかんないかわさいぼう	88	●	
97	間葉組織間	あいだはそしきかん	89	●	
98	β遮断剤	Bしゃだんざい	89		
99	虚血性心疾患	きょちせいいころしつかん	89	●	
100	内耳神経	ないじしんけい	89		
101	上皮組織	うわかわそしき	89	●	
102	全身性紅斑性狼瘡	ぜんしんせいべにまだらせいおおかみかさ	89	●	
103	抗核抗体 (抗DNA抗体)	こうかくこうたい (こうDNAこうたい)	89		
104	尋常性天疱瘡	じんじょうせいてんほうそう	89		
105	血管内皮障害	けっかんないかわしょうがい	89	●	
106	好酸球	よしみさんたま	89	●	
107	内皮細胞死	ないかわさいぼうし	89	●	
108	システイン残基	しすていんざんもと	89	●	

コマンド NUM

95	赤芽球	せきがきゅう	88	○	
96	血管内皮細胞	けっかんないひさいぼう	88	○	
97	間葉組織間	あいだはそしきかん	89	●	
98	β遮断剤	Bしゃだんざい	89		
99	虚血性心疾患	きょけっせいごころしつかん	89	●	
100	内耳神経	ないじしんけい	89		
101	上皮組織	うわかわそしき	89	●	
102	全身性紅斑性狼瘡	ぜんしんせいべにはんせいおおかみそう	89	●	
103	抗核抗体 (抗DNA抗体)	こうかくこうたい (こうDNAこうたい)	89		
104	尋常性天疱瘡	じんじょうせいてんほうそう	89		
105	血管内皮障害	けっかんないひしょうがい	89	○	
106	好酸球	こうさんきゅう	89	○	
107	内皮細胞死	ないひさいぼうし	89	○	
108	システイン残基	しすていんざんき	89	○	

コマンド NUM

- ・この例ではフリーの辞書を用いていますが、市販のものを採用するなどして、読みの精度をさらに上げることは可能です。

(10) ノンブルについて

- ・ノンブルは、半角の洋数字 1 から 9999 に対応しています。
- ・漢数字や 001, 002・・・、ローマ数字の I II III・・・などには対応していません。その場合は、InDesign のページ番号設定画面で 1, 2, 3・・・の洋数字に変え、実行結果の Excel 上でノンブルを元の体裁に戻すなどの進め方になります。
- ・セクションプレフィックスには対応していません。プレフィックスは付けずに、上と同様に処置して下さい。
- ・文字のあふれが発生しているストーリーは、ページが確定せずノンブルが抽出されないなど、正しい結果になりません。

(11) 処理できないケース

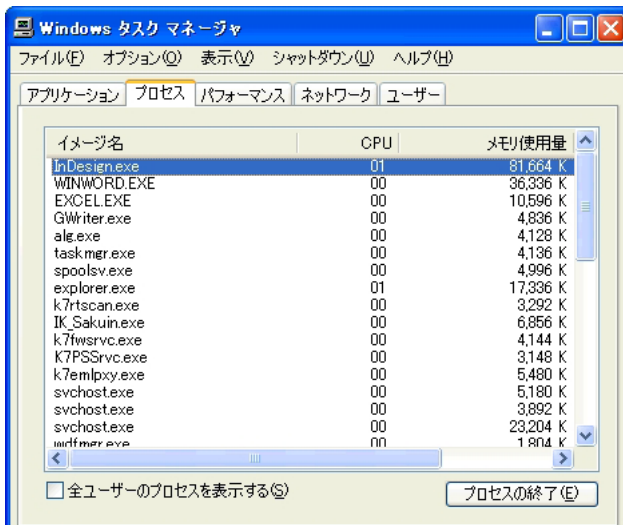
1. 表組みには対応していません。→「製品の補足説明」参照
 - ・ただし、本文（文章）の途中に出てくるような簡単な表は、抽出できる場合があります。
 - ・1 ページ全体が表になっているものや何ページにもまたがる表、またレイアウトの複雑な表は、処理できません。本ソフトを実行して抽出されたように見えても、語句やノンブルが抜けていたりノンブルが違っていることがあります。
2. 洋数字以外のノンブルが入った文書は、処理できません。
 - ・実行中エラーになります。→ (10) ノンブルについて 参照
3. 予想外のレイアウトやデータは、処理できない場合があります。
 - ・本ソフトは、一般的な書籍の索引作成を想定し作られています。雑誌のように複雑なレイアウトや、複雑なデータ（例えば文字の飾りやスタイル）など予想外の状況では、処理が止まったり正しい結果にならない場合があります。

(12) 処理が中断したときの復帰方法

本ソフト実行中に何らかのエラーが発生し、処理が止まったりして反応しなくなった場合の復帰方法です。

1. タスクマネージャでプロセスを強制終了します。

- InDesign.exe, EXCEL.EXE, WINWORD.EXE の中で、プロセス名が出ているものを選択して「プロセスの終了」を押します。
(タスクマネージャは、Ctrl + Alt + Delete キーで起動します)



2. 各ソフトで、「保存しないで終了」を選択します。

- 各ソフトの強制終了中または再起動後に、ファイル保存についてダイアログが表示されることがあります。
これらは解析や一時作成用のファイルですが、中途の状態になっていますので、必ず破棄終了して下さい。
- 破棄終了せずに中途のファイルを保存した場合は、再度実行したときの結果が正しくなりません。

3. 必要に応じ、本ソフトを再起動します。

【製品の補足説明】

(1) マーキングについて

1. スウォッチの数は、必要に応じて設定します。
 - ・マーク用のスウォッチの数は、通常は1つです。マーキングを色分けしたいケースが出てきたときに、その数だけ増やします。
2. スタイルに登録すると手早くマーキングできます。
 - ・文字スタイルとしてマーク用のスウォッチ（カラー）を登録します。ただし、スタイル名はスウォッチ名と同一（SakuinMark1、SakuinMark2・・・）にしてください。キーボードショートカットを設定すれば、手早くマーキングできます。

(2) 索引語句の抽出について

1. 同一ページ内に、複数のストーリー（テキストフレーム）がある場合でも抽出可能です。また、連続していないページに配置された連結テキストフレームのストーリーも抽出可能です。
2. マーク文字列はテキストとして抽出します。例えばルビや圏点などは除かれ、インデックスは親文字になります。
3. Unicode の文字（Shift-JIS にない文字）も抽出可能です。
4. InDesign 固有の文字（異体字など）は抽出されず、類似の Shift-JIS または Unicode 文字に置き換えられます。
 - ◎ 2～4 について 具体的には、対象文書をタグ付きで書き出したときのテキスト（Unicode）に準じた文字列になります。
5. 改行を含んだマーク文字列は、改行の前後で別々な語句として抽出されます。
6. 色フチの文字列は抽出できません。

(3) 読みの発生と専門用語辞書について

◎本ソフトでは、システム側の IME から読みを取得しています。

1. Unicode の読みには対応していません。

- Unicode の文字は索引語句としては正しく抽出されますが、読みには対応していません。
- 読みは不定になりますが、ほとんどの場合、漢字も記号も「?マーク」になります。一部アクセントなどは、「ÄÇÖ」→「ACO」のように Shift-JIS 表現になります。

2. IME 辞書は、MS-IME の環境で運用して下さい。

- ATOK など他の IME 使用時には、実行結果に専門用語辞書が反映されません。
- 同様に一般辞書も、MS-IME 以外は結果に反映されません。
- ATOK 向けの辞書を、テキストファイルなどを利用して MS-IME のユーザー辞書に登録できる場合には、そこからシステム辞書を作成することが可能です。
(追加辞書数が多いと、実行速度が低下する場合があります)

3. 抽出結果の「★読み再確認★」というコメントについて

- 読み仮名が正しく取得できなかったことを示します。読みの中に Shift-JIS の漢字が含まれたままになっているとき、読み文字列の末尾にこのコメントが追加されます。

4. 読みの欠落について

- まれに読み文字列の一部または全部が欠落する場合があります。特定の文字コードの組み合わせ (バイト列) によるものか、原因は判明していませんが、処理スピードなど技術的な理由で、欠落のエラー処理には対応していません。

(4) アプリケーションのバージョンについて

○ InDesign

- ・直前に起動したバージョンの InDesign を、本ソフト実行時の対象となる InDesign として認識します。
- ・混在環境（例えば InDesign の CC2017 と CS6 がインストールされている）でも本ソフトは実行できますが、できるだけ単一バージョンの InDesign で運用することを推奨します。例えば CS6 の文書を、CC2017 と本ソフトで索引抽出しようとしても実行エラーになります。

注) InDesign CC に限り PC 環境が 64bitOS の場合、64bit 版と 32bit 版が両方インストールされますが（2017.5 月現在）、32bit 版をアンインストールしないと本ソフトは実行できません。

○ Excel・Word (Microsoft Office)

- ・Excel および Word は混在環境でなく、できるだけ単一のバージョンを PC にインストールしてご使用下さい。混在環境で一方のバージョンを削除すると本ソフトが動作しなくなる場合があります。その場合は再インストールが必要になります。

注1) Office2016 は仕様により、同じ Excel や Word のバージョン混在はできません。（2017.5 月現在）

注2) Microsoft Office は PC 環境が 64bitOS の場合でも、デフォルトでは 32bit 版がインストールされます。本ソフトは 32bit 版 Office が必須となり、64bit 版では動作しません。

《参考》本ソフトの Windows8 対応版において、InDesign の 64bit 版では動作不可でしたが、Windows10 対応版では動作可能となっています。

各アプリへの個々の対応については、SND Software の製品ホームページに記載された動作確認リストを参照下さい。

(5) 本ソフトの処理能力（所要時間の目安）について

- ・マーキングした索引語句 1400 個所の索引データ作成に要する時間は、Intel Core 3.2GHz で 140 秒程度の例があります。対象文書のページ数や、PC の総合的な性能により所要時間は変わります。

(6) InDesign の表組みに含まれる索引語句の抽出について

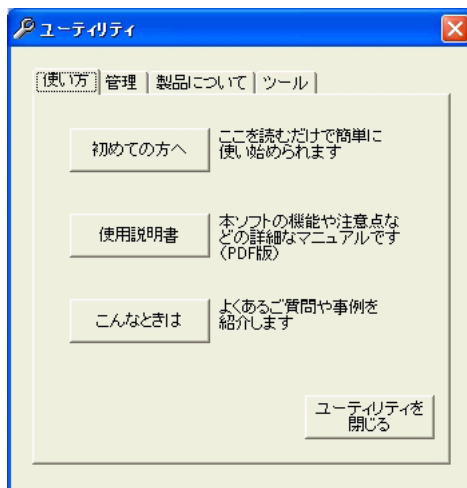
本ソフトは、表組みの索引抽出には対応していません。ただしマーキング済み文書が索引作業用であり、体裁が崩れてもかまわない場合には、次の方法で抽出が可能です。

- ・テキストフレーム内にある表組みに対し、本文と同様に索引対象語句にマーキングします。
- ・「表をテキストに変換」します。
- ・文書を保存して本ソフトを実行すれば、通常のテキストフレーム内の文章と同様に索引抽出が可能になります。

(7) その他の画面の紹介・説明

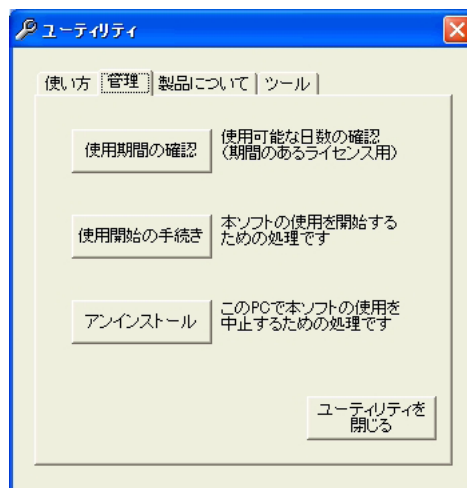
1. 「ユーティリティ」－「使い方」

- ・本使用説明書をはじめ、各種ヘルプトピックが参照できます。



2. 「ユーティリティ」－「管理」

- ・主にライセンス関係の管理や確認のための画面です。



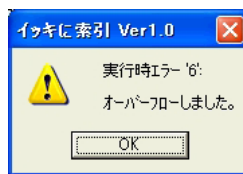
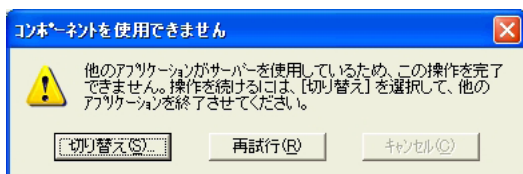
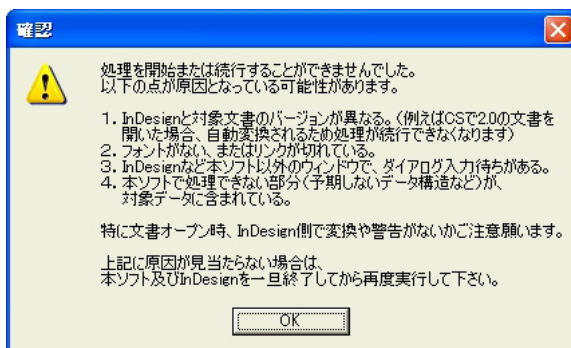
【制限・注意事項】

1. 索引抽出についての制限について

- ・索引抽出できる語句数の上限は、32,767 語句です。一つの索引語句文字列の長さに、特に制限はありません。ノズブルは、1 から 9999 までが処理可能な範囲です。

2. 状況により発生するエラーについて

処理が中断したり、本ソフトが反応しなくなったりして、次のようなエラーが表示されることがあります。



このようなエラーは、以下の①～③が主な原因です。

- ①本ソフト以外 (InDesign など) で、ダイアログ入力待ちの状態になっている。
- 画像やテキストのリンク切れ・フォント環境に違いがある。
 - 対象文書と実行時の InDesign のバージョンが異なる。

- 原因を調べて、ダイアログが出ないようにして下さい。
- ②本ソフトで処理できないデータが含まれている。
- エラーの可能性がある部分をプレーンなテキストに差し替えるか、複数文書に分割して再度実行して下さい。
- ③本ソフトの実行環境（本説明書の P4）を満たしていない。
- ユーザーアカウント制御や「管理者として実行」などの実行環境を再確認して下さい。
- その他①～③以外の何らかの原因で、アプリケーション間通信（本ソフトから Excel・Word や InDesign を制御すること）が中断した場合も、エラーが発生します。どうしても反応しないときは、各ソフトを強制終了して下さい。
- 「使い方ー処理が中断したときの復帰方法」 参照

3. 実行中の操作について

- ・実行中はできるだけマウス・キー操作をしないで下さい。通信が中断したり、エラーの原因になります。

4. 実行中に表示されるステータスについて

- ・処理中のストーリー数は、その時点で何番目のストーリーが処理されているかを示すものです。ストーリーは、改行だけで文字がないフレームなども含みます。そのためダイアログ上では一瞬であり、表示されないように見えるストーリーもあります。

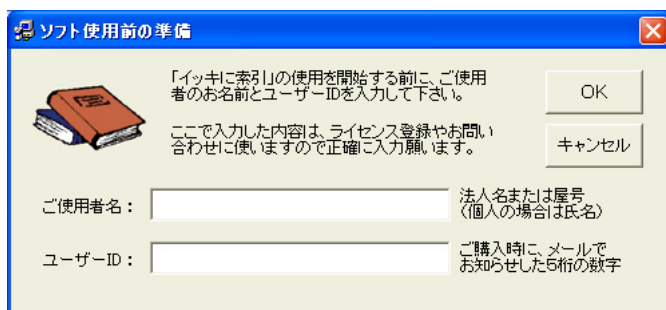
5. 実行中の各ソフトの画面表示について

- ・実行中は、本ソフト以外は基本的にバックグラウンド（非表示）で動作します。これは、画面描画の繁雑さをなくし、処理スピードを保つことが目的です。

【インストールと製品の運用管理について】

(1) インストールについて

1. 本ソフトをお客様の PC にインストールします。
 - ・製品フォルダ内の setup.exe をダブルクリックし、画面に従って本ソフトをインストールします。
 - ・動作環境など、本ソフトの運用に適した PC を選択して、インストールを行って下さい。
 - ・ライセンス手続きが完了した後で、他の PC に本ソフトを移行する場合は、再度ライセンス手続きが必要になります。
2. 本ソフトのプログラム本体 (IK_Sakuin03.exe) を起動すると、初期設定画面が表示されます。
 - ・プログラム使用許諾書の確認後、お名前とユーザー ID (5桁) を入力します。(後から修正することはできません)



- ・OKを押すと、本ソフトのメイン画面が表示されます。
この時点では索引抽出処理の実行はできません。実行するには、使用開始の手続き (ライセンス手続き) が必要です。
- ・毎回起動時の実行環境チェックで、レジストリやシステム日付に不整合などの異常があった場合は、この初期設定画面が表示され、インストール直後の状態に戻ります。

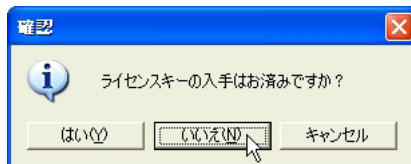
(2) ライセンス手続き (アクティベーション) について

- 以下のようなステップでライセンス手続きを行って下さい。
なお本ソフトは、ライセンスにアクティベーション方式 (P C
ハードウェア固有の情報を使用する) を採用しています。

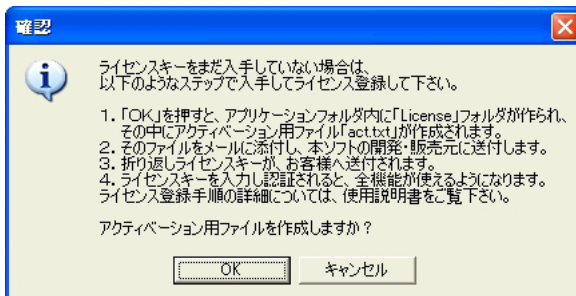
- ①アクティベーション用ファイルの作成
- ②同ファイルの確認
- ③同ファイルを開発元へ送付
- ④開発元からライセンスキー返送
- ⑤ライセンスキーの入力と認証
- ⑥手続き完了 (本ソフト実行可)

1. 「ユーティリティ」 - 「管理」 - 「使用開始の手続き」 のボタンを押して先に進みます。

- 次の画面が出たら、「いいえ」をクリックします。



2. アクティベーション用ファイルを作成します。



- OK を押すとファイルが作成されます。

3. アクティベーション用ファイルを確認します。

- アプリケーションフォルダ（本ソフトがインストールされているフォルダ）内の「License」フォルダに、アクティベーション用ファイル「act.txt」が作成されます。（本ソフトは必ず「管理者として実行」のモードで起動して下さい）
- 例のように6つキー項目ができていれば OK です。
（キーのうち2つは値が空です）

（作成された例）

InstallKey : 40239

UnInstallKey :

LicenseKey :

HardWareKey : 37526

UserName : エスエヌディー

UserIDKey : 13578

4. アクティベーション用ファイルを開発元へ送付します。

- 「act.txt」をメールに添付して、本ソフトご購入時にお知らせしたアドレスに送ります。
- メールの題名・本文には、以下の事項を記入して下さい。

題名：「ライセンス手続きの件」

本文：○会社名または屋号

○ユーザー ID

○お名前（ライセンス手続きを担当される方）

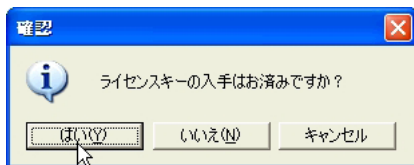
○電話番号

○FAX 番号

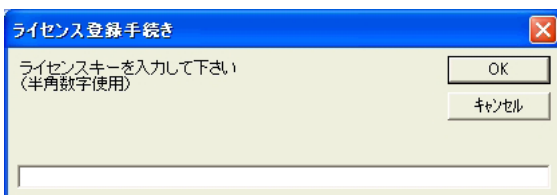
○メールアドレス

- 開発元からライセンスキーが返送されます。

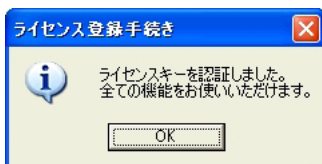
5. ライセンスキー入手後、再度「使用開始の手続き」へ進みます。
- 次の画面が出たら、「はい」をクリックします。



6. ライセンスキーを入力します。(半角数字使用)



7. 認証されると手続きが完了し、本ソフトが実行できます。



- ◎他のPCに本ソフトを移行する場合は、先にアンインストール処理をしてから、ライセンス手続きを行って下さい。
- (3) アンインストール処理について 参照

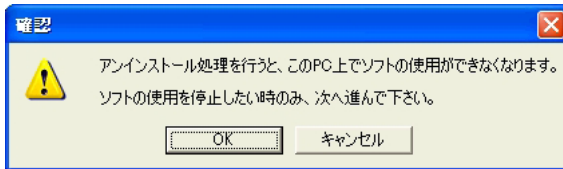
(3) アンインストール処理について

アンインストール処理は、他の PC に本ソフトを移行する場合に行う処理です。

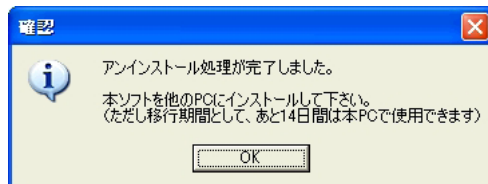
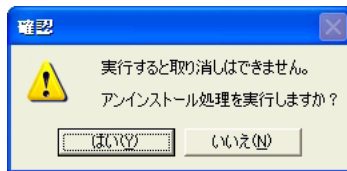
- 本処理を行わないと、他の PC に移行することはできません。
- アンインストール処理を行うと、その PC では本ソフトが使用できなくなりますのでご注意ください。

ただしアンインストール直後は、移行期間として 14 日間使用できます。

1. 「ユーティリティ」－「管理」－「アンインストール」で、画面に従い順に進みます。



- 「はい」を押すと、アンインストール処理が行われ、アンインストールファイルが同時に作成されます。



2. アンインストールファイルを確認します。

- ・アプリケーションフォルダ（本ソフトがインストールされているフォルダ）内の「License」フォルダに、アンインストールファイル「UnInstall.txt」が作成されます。

（作成された例）

InstallKey : 40239

UnInstallKey : 51839492

LicenseKey : 23346951

HardWareKey : 37526

UserName : エスエヌディー

UserIDKey : 13578

3. 他の PC でライセンス手続きを行います。

- ・他の PC へ移行する場合、今まで使用していた PC のアンインストールファイルと、新たに使用を開始する PC のアクティベーション用ファイルの両方を開発元へ送付してライセンス手続きを行います。
- ・開発元で2つのファイルを元に、ライセンスキーを作成します。
- ・他は、（2）ライセンス手続き と同じです。
- ・移行完了後、元の PC から本ソフトを削除して下さい。「コントロールパネル→プログラムの追加と削除」を使用します。

（4）期間限定ライセンス（評価版・試用版含む）について

1. 使用期間が限定されている他は、本説明書記載の内容が適用されます。（一部の機能が追加・制限される場合があります）
2. 「ユーティリティ」－「管理」－「使用期間の確認」で使用期間の残り日数を確認できます。

(5) その他運用・管理上の注意点

1. レジストリとシステムの日時設定について

- ・レジストリは変更しないで下さい。また、システムの日付は変更しないで下さい。本ソフトが起動しなくなる原因になります。

2. ネットワークアダプタについて

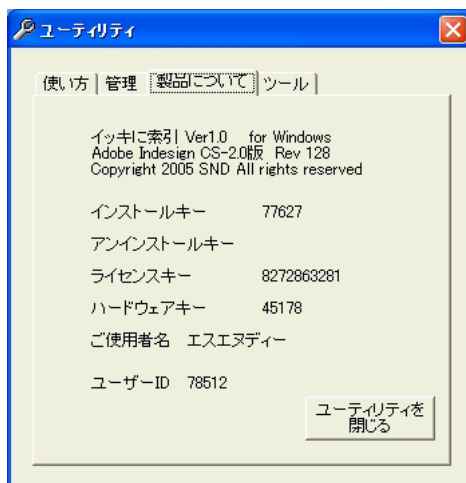
- ・ネットワークアダプタ（LANカード）はできるだけ交換しないで下さい。交換するとハードウェアキーが変更され、再度ライセンスキーを取得するまで実行できなくなります。

3. 本ソフトのフォルダ構成について

- ・本ソフトがインストールされたフォルダの配置や構成を、変えないようにして下さい。エラーの原因になります。

4. ライセンスに関する各キーの確認について

- ・ライセンスキーなど各キーの値は「ユーティリティ」－「製品について」の画面で確認できます。



【製品サポートについて】

お客様に対する無償のサポートとして、以下の対応をさせていただきます。

①バージョンUP（アップデート版含む）のご案内

②製品の動作や事例などのお知らせ

③新製品のご案内

（①～③は、製品ホームページへの掲載、またはお客様へのメールにて行います。回数・時期などは、実施の有無も含めて SND Software にて定めさせていただきます）

④操作方法のご質問に対する回答

本製品の使用に関する個々のご質問は、ご購入後3ヶ月間メールにて承ります。

《重要》Windows10 対応版リリースに伴い、製品ホームページにサポートポリシーを記載しています。ご一読いただけますようお願い申し上げます。

イッキに索引 Ver1.0 Windows10 対応版

Copyright 2017 SND Software All rights reserved

本使用説明書の無断転載は固くお断りします。

開発元：SND Software 2017年5月発行